

自然観察会報告
大谷崩での自然観察会
横山謙二



化石・鉱物を探す参加者



大きな石を割る宮澤さん他

11月1日（土）安倍川の最上流部の大谷崩にて、化石や鉱物採集、紅葉観察などを楽しむ自然観察会を行いました。前日雨で、開催が心配されていましたが、幸いなことに当日は晴れ、8名の参加がありました。

集合場所の黄金の湯から、大谷崩れに移動し、どんな化石が取れるかなどを私の方から説明を行った後、さっそく化石・鉱物採集を始めました。参加者のみなさんは四方八方に散らばり、各自で、生痕化石や水晶、黄鉄鉱などを探し回りました。私は、あまり登らず、参加者の様子を見ていましたが、ずいぶん高いところまで登った人もいました。

1時間ほどしてから、私も少し登って参加者の話を聞くと、五十嵐さんが大きな岩に、たくさん見られる、蛇行しながら這いまわった跡のような生痕化石の*Helminthorhaphe*を見つけていました。化石を含む岩は、60kg以上で、持ち帰るどころか、下に運ぶことすらできそうにありません。そこで、近くで石を割っていた宮澤さん呼び、化石が破損する恐れもありましたが、岩を割って運ぶこととなりました。やはり、化石は何分割かにわかれてしまい、帰って復元することにしました。

お昼をすぎたころ、採集物を下におろ

し、どんなものが取れたか見せてもらうと、立派な生痕化石のプロトバーギュラリア *Protovirgularia isp.* やノジュールの中にキラキラと光る黄鉄鉱、小さい水晶などが採集されていました。

昼食後も、みなさん熱心に探しまわり、また岩を割ったりして、帰る気配が全くありません。午後2時すぎに、やっと上流で岩を割っていた宮澤さんが、ゆっくり降り始めました。そのころ駐車場近くの下流で採集していた中西さんが大きな水晶を見つけたとのことでした。

その後、帰ることとなり駐車場に戻ると、30kgをこえる大きな石が置いてあります。中西さんが運んできたもので、その石には約1cmの水晶が2つほどついています。この水晶は、中西さんが大谷崩で見つけた最大のもののことです。たしかに水晶はきれいで大きいものですが、この大きな石ごと持って帰ろうとは、思いもしませんでした。いつか、この水晶もミュージアムで展示してもらいたいとおもいます。

観察会を終了し、採集した、たくさんの重い石は車に積み、ふじみまで運びました。このためか、11月3日の夕方、私は突然ぎっくり腰となってしまう、しばらく歩くことも、ままならない腰痛に悩まされてしまいました。